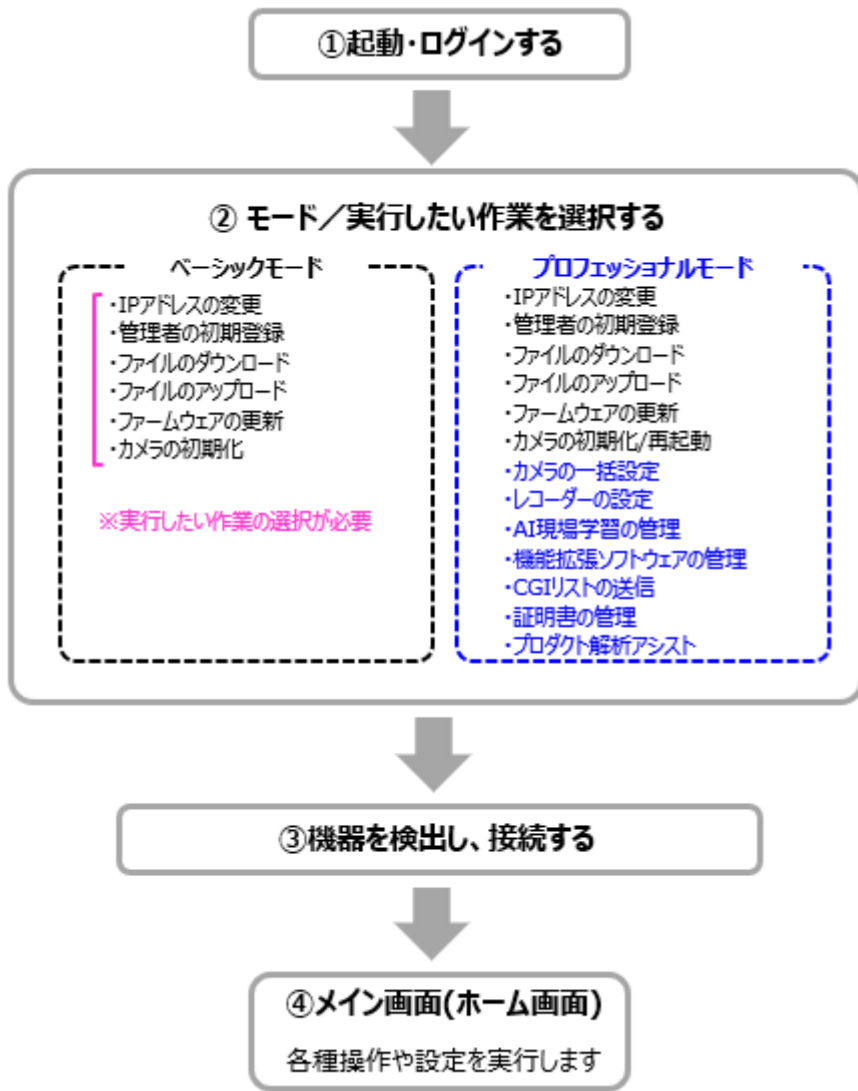


i-PRO 設定ツール

操作の流れ



①起動・ログインする

Windows スタートメニュー から
[i-PRO] - [i-PRO設定ツール]を選択してください

「HTTP」が選択されている場合、「確認」画面が表示されます。
「機器との接続にHTTPSを優先します」のチェックボックスの設定は、オプション設定に保存されます。

②モード／実行したい作業を選択する

モードを選択／実行したい作業にチェックをいれて「次へ」を押します

③機器を検出し、接続する

機器と通信・接続するために、
機器のユーザー名・パスワードの入力が必要です

④メイン画面(ホーム画面) ここから各種操作や設定をおこないます

(a) <ベーシックモード/プロフェッショナルモード> 共通機能

- (i) [ハンバーガーアイコン] 操作メニューのアイコン表示と詳細表示を切り替えます
- (ii) [メニュー選択] メニュー選択画面を表示します
- (iii) [IP アドレスの変更] 機器の IP アドレス設定を行います
- (iv) [管理者の初期設定] 機器の管理者の初期設定を行います
- (v) [ファイルのダウンロード] 機器の設定/ログファイルのダウンロードを行います (設定レポートの作成も行えます)
- (vi) [ファイルのアップロード] 機器へ設定ファイルのアップロードを行います
- (vii) [ファームウェアの更新] 機器のファームウェアを更新します
- (viii) [カメラの再起動] カメラの再起動を行います

(b) <プロフェッショナルモード> 専用機能

「ベーシックモード」選択時には表示されません

「ベーシックモード」の機能に加えて、以下の機能が利用できます

- (i) [カメラの一括設定] 個別カメラ、もしくは複数カメラの設定をまとめて行えます
- (ii) [レコーダーの設定] レコーダーの設定を行います(オフライン) (レコーダー機器への設定送信は「ファイルのアップロード」機能をご利用ください)
- (iii) [AI 現場学習の管理] AI 現場学習の管理の操作を行います
- (iv) [機能拡張ソフトウェアの管理] 機能拡張ソフトウェア/ライセンスに関する設定を行います
- (v) [CGI リストの送信] 機器に CGI リストを送信します
- (vi) [証明書の管理] 機器の証明書の管理を行います
- (vii) [カメラの初期化/再起動] カメラの初期化/再起動を行います
- (viii) [プロダクト解析アシスト] カメラ/レコーダーのログ解析を支援します

(c) 操作メニュー



- (i) (ii) (iii) (iv) (v) (vi)

- (i) [機器の自動検出] 自/他サブネットにある機器を検出追加できます
- (ii) [機器の手動追加] オフラインでカメラを追加できます
- (iii) [更新] 機器一覧/サムネイル/機器や機能拡張ソフトウェアのバージョン情報を最新の状態にします
- (iv) [認証情報設定] 機器に接続する際に使用する認証情報を変更します
- (v) [機器の削除] 機器一覧で指定した機器を削除します
- (vi) [お知らせ] 通知情報がある場合、画面右下に通知情報を表示します

※カメラやレコーダーなど機器の設定変更に関する機能に関しては「プロフェッショナル」モードのみ対応しています



- (i) (ii) (iii) (iv) (v) (vi) (vii) (viii)

エラー項目(赤文字)上で右クリックすることで、エラーを解決するための対応が表示されます。

メイン画面の右側に各種操作メニューが表示されます

項目	アイコン説明
機器操作	対象機器との通信開始順番待ち状態
全体共通	対象機器に対する処理を実行中
	対象機器に対する処理に成功した
	対象機器に対する処理に失敗した
機器管理者	対象機器の管理者情報が設定済である
設定状態	対象機器の管理者情報が未設定である(管理者初期登録操作が必要な機器)
	対象機器の管理者設定状態が識別できない(通信前のため状態が未取得の機器)
フェイルオーバー	対象レコーダーがスレブ設定(待機状態)である
機器通信設定	HTTPS通信状態の機器 (HTTP通信状態の場合はアイコン表示なし)

(d) <機能拡張ソフトウェアの管理>のサブメニュー

- (i) [アプリケーションの登録/更新] 機能拡張ソフトウェアの登録/更新ができます
最新版の「機能拡張ソフトウェア(全機能)」※2をダウンロードして、PC上に展開し、展開後のフォルダを本メニューから指定してください
- (ii) [解除キーの発行] 解除キーの発行ができます
取得した起動ID番号と暗号ID番号を入力し、キー管理システム※3にログインすることで、解除キーが発行されます
- (iii) [解除キーの登録] 発行した解除キー番号をカメラに登録します
- (iv) [アプリケーションの設定] 機能拡張ソフトウェアの動作設定を行います
- (v) [アプリケーション/解除キーの削除] 機能拡張ソフトウェア/解除キーを削除できます
- (vi) [i-PRO Docker 拡張モジュールの設定] i-PRO Docker 拡張モジュールの設定ができます

※2：機能拡張ソフトウェア(全機能)は、下記 URL より取得してください
https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/tools/learning-and-support/tools/ict
 ※3：キー管理システムがメンテナンス中、または、ネットワーク障害の場合、本機能は利用できません。

プロフェッショナルモード

ベーシックモード

ファイルのダウンロード

- ファイルのダウンロード
ダウンロードしたいファイルを選択してください。「開始」ボタンをクリックするとダウンロードを開始します。
※「ログファイル」については、メーカーからの送付依頼がある場合にのみご利用ください。
- 設定ファイル
- JPEG静止画(カメラのみ)
- ログファイル
- シーンファイル(カメラ)
- 機器一覧と静止画のレポートを作成する

ファイルのアップロード

設定情報をアップロードしたい機器の「カメラ」を選択し、設定ファイルを選択してください。「開始」ボタンをクリックするとアップロードを開始します。

カメラ/レコーダー/デコーダー設定ファイル

ファイル名

開始日時
1月 第1 日曜日

1 AM

ネットワークに関する設定内容を上書きする

ファームウェアの更新

ファームウェアの保存フォルダを選択してください。「開始」ボタンをクリックするとファームウェア更新を開始します。

ファームウェアの保存フォルダを選択してください

保存フォルダ

カメラの一括設定

カメラタイトル
WV-S1135V

画面内表示文字
Off

画面内文字
日付-時刻表示設定
24h

日付-時刻表示位置
左上

画面内文字表示位置
左上

言語選択
自動

画像回転
0°(Off)

上下反転

PC時刻をカメラに設定する

日付表示形式
Mmm/DD/YYYY

サマタイム
Out

開始日時
1月 第1 日曜日

1 AM

終了日時

レコーダーの設定

レコーダーの設定画面

ONVIF®に準拠した機器は、「ONVIF適合機器」タブに表示されます。
 本ソフトウェアで動作確認できているONVIFに準拠した機器は以下となります。
 AXIS: M1135, M3047-P, M3066-V, M5065, P1378, P1455-LE, Q1614
 Hanwha: PNO-A6081R, PND-A6081RV, QNB-6002, QNF-8010, XNF-8010R

レコーダーの設定について
 設定するレコーダーがWJ-NX200、WJ-HD616、HJ-HD716の場合、G(PAL)、または、P(NTSC)を選択してご使用ください。

